

10BASE-T/100BASE-TX インテリジェントデュアルスピードスタックブルHUB

**CentreCOM®**  
**FH812u/812u-SW/824u/824u-SW**  
**ハードウェア設置マニュアル**

この度は、CentreCOM FH812u/812u-SW/824u/824u-SW(以下FH812u/812u-SW/824u/824u-SWと略記します)をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このハードウェア設置マニュアルをお読みにになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

## 目次

使用および取り扱い上の注意 .....	2
製品概要 .....	4
モジュールオプション .....	5
同梱品一覧 .....	6
再梱包 .....	6
各部の名称と機能 .....	6
設置するまえに .....	9
設置、接続のしかた .....	11
スタンドアローン .....	12
カスケード接続 .....	12
スタック接続 .....	14
トラブルシューティング .....	17
オプションモジュールの取付け・取外し .....	20
推奨ケーブル .....	21
スタック接続用インターフェース .....	22
製品仕様 .....	22
保証 .....	24
ユーザーサポート .....	24
調査依頼書のご記入にあたって .....	24
使用しているハードウェアについて .....	25
お問い合わせ内容について .....	25
ネットワーク構成について .....	25
ご注意 .....	25
商標 .....	25
マニュアルバージョン .....	26





### 取り扱いには丁寧に

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



### 動作温度

本装置は、周囲温度 0 ~ 40 の範囲でご使用ください。特に、本装置をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。



### 異物を入れないでください。

通気口から金属や液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。



### 設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて

本装置の設置や移動、ケーブル配線などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。



### 次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・ 急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
- ・ 湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80 % 以下の環境でご使用ください)
- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
- ・ 腐食性ガスの発生する場所



### 日常のお手入れ

本装置の汚れは、乾いたやわらかい布でふきとってください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変形や変色の原因になります。

## 製品概要

FH812u/812u-SW/824u/824u-SWは、10BASE-T/100BASE-TX自動認識ポートを12または24ポート装備したデュアルスピードのファーストイーサネットスタックブルHUBです。

各ポートの自動認識機能により自動的に10BASE-Tと100BASE-TX、2つのドメインを内部で構成し、10Mbpsと100Mbpsの混在環境で簡単にLAN環境を構築できます。

FH812u-SWとFH824u-SWはこれら2つの内部ドメインの10Mbps-100Mbps間通信機能(ブリッジング)を持った802uスイッチモジュールを装着したモデルです。

FH812u/824uはこれらSWモデルとスタックすることによって安価に多ポートデュアルHUBを構築できるモジュールレスモデルです。

(FH812u/824uのみでは、デュアルスピードHUBとして機能しません。)

スイッチモジュール(FH802u/FH803u/FH804u)をインストールしていないFH812u/824uはスタック専用のモデルとして使用してください。スタック構成内には必ず一つのスイッチモジュールが必要です。

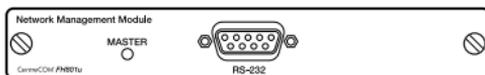
- ・ 10BASE-T/100BASE-TX混在のネットワーク構築に最適
- ・ 全ポートが10BASE-T/100BASE-TXのオートネゴシエーションポート(10Mbps Half/100Mbps Half自動認識ポート)
- ・ カスケード接続用ポートを1ポート装備
- ・ ネットワークや機器の状態が一目でわかるLED機能
- ・ 専用のスタックケーブルで最大4台までスタック接続可能
- ・ ポートごとのジャバー機能・パーティション機能
- ・ 電源内蔵型
- ・ オプションモジュールをインストールすることにより、100BASE-FX、SNMP、RMONなどが使用可能。

## モジュールオプション

### FH801u ネットワークマネジメントモジュール

SNMP、RMON機能を装備し、Webマネジメント、Telnet、VT-100などのターミナル、SLIPでの接続が可能です。

(下側のスロット専用です。)



### FH802u スイッチモジュール

2つの内部ドメインの10Mbps-100Mbps間の通信機能(ブリッジング)を装備したモジュールです。

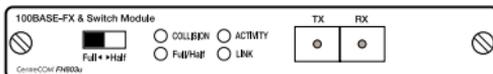
(上側のスロット専用です。)



### FH803u 100BASE-FX & スイッチモジュール

FH802u スイッチモジュールに100BASE-FX(SCコネクタ)ポートが追加されているモジュールです。

(上側のスロット専用です。)



### FH804u 10BASE-T/100BASE-TX & スイッチモジュール

FH802u スイッチモジュールに10BASE-T/100BASE-TX自動認識ポートが追加されているモジュールです。

(上側のスロット専用です。)



## 同梱品一覧

最初に FH812u/812u-SW/824u/824u-SW の梱包箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。

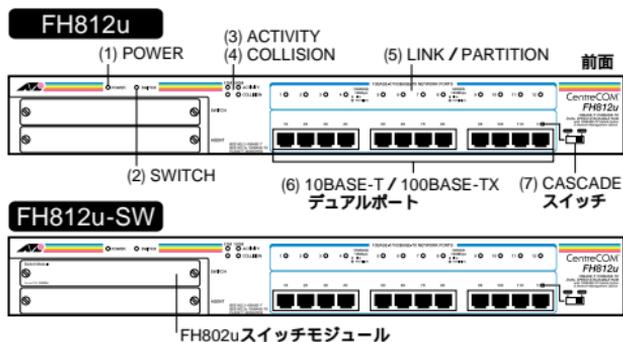
- ・ FH812u/812u-SW/824u/824u-SW 本体
- ・ 電源ケーブル( AC100V 用 )
- ・ スタックケーブル
- ・ ゴム脚( 粘着タイプ・4 個 )
- ・ ラックマウントブラケット( 2 個 )とネジ( 8 個 )
- ・ 保証書( 3 年保証 )
- ・ お客様インフォメーション登録カード
- ・ シリアル番号シール
- ・ 本ハードウェア設置マニュアル

FH812u-SW/FH824u-SW には FH802u スイッチモジュールがインストールされていることを確認してください。

## 再梱包

本装置を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

## 各部の名称と機能



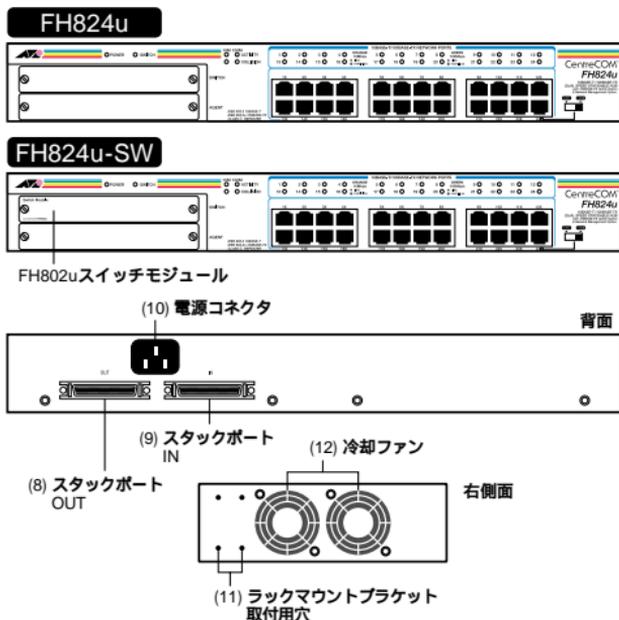


図1 外観図

- (1) POWER(緑)  
本体に電源が正常に供給されているとき点灯します。
- (2) SWITCH(緑)  
スイッチモジュール(FH802u/FH803u/FH804u)がインストールされ正常に動作している時に点灯します。  
このLEDが点灯している場合は10M-100MのデュアルHUBとして機能しています。
- (3) ACTIVITY(緑)  
10Mbpsまたは100Mbpsでデータの送受信が正常に行なわれているときに点灯します。
- (4) COLLISION(橙)  
10Mbpsまたは100Mbpsでコリジョンが発生しているときに点灯します。
- (5) LINK/PARTITION  
点灯(緑:100Mbps、橙:10Mbps) LINK)ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。  
点滅(緑:100Mbps、橙:10Mbps) PARTITION)  
パーティション機能によって、ポートが一時的に切り離されているときに点滅します。

(6) 10BASE-T/100BASE-TX **デュアルポート**

10BASE-T/100BASE-TX の UTP ケーブル(シールドなしツイストペアケーブル)を接続するためのコネクタです。100Mbps/10Mbpsの切り換えは、キャリアの速度を検出することによって自動的にを行います。

最終ポート(12/24)はCASCADEスイッチによって、通常の10BASE-T/100BASE-TX自動認識ポート(MDI-X)として使用するか、カスケード接続用ポート(MDI)として使用するかを選択することができます。

どのポートに10BASE-Tまたは100BASE-TXを接続しても自動的に認識されます。

(7) **CASCADE スイッチ**

最終ポート(12/24)をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常のポートとして使用するかを選択します。

= HUB(MDI)

カスケード接続をするときのカスケードポート(MDI)として使用します。

× PC(MDI-X)

通常のポート(MDI-X)として使用します。

(8)(9)**スタックポート(IN-OUT)**

同梱されているスタックケーブルを使用してスタック接続する際に使用します。

接続時にはスタックケーブルの一方を「IN」に、他方を「OUT」に接続します。

(10) **電源コネクタ**

電源ケーブルを接続するためのコネクタです。

(11) **ラックマウントブラケット取付用穴**

付属のラックマウントブラケットを取付けるためのネジ穴です。

必ず付属のネジを使用してください。

(12) **冷却ファン**

空気の循環と熱の発散をさせるためのファンです。

換気をよくするため、FH812u/812u-SW/824u/824u-SWの両側面に十分な空間を確保してご使用ください。

## 設置するまえに

### 設置場所

FH812u/812u-SW/824u/824u-SWを設置する適切な場所を確保してください。以下のような場所への設置は避けてください。

- ・ 直射日光のあたる場所、湿気が多い場所や水のかかる場所
- ・ 温度変化の急激な場所( 暖房機、エアコン、加湿器、冷蔵庫の近くなど)
- ・ ほこりの多い場所
- ・ 強い振動、腐食性ガスの発生する場所

### 電源

電源電圧に合った適切な電源ケーブルを使用してください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、FH812u/812u-SW/824u/824u-SWに付属のAC電源ケーブル(アース線付き3ピンコネクタ)を使用し、3ピンのAC電源コンセントに接続してください。不適切な電源ケーブルやコンセントをご使用になると、アースが取れず、本体の金属部分に触れたとき感電する恐れがありますのでご注意ください。

### ゴム脚の取り付け

FH812u/812u-SW/824u/824u-SWを水平な場所に置いて使用する場合は、必ず付属のゴム脚を使用してください。衝撃を吸収するクッションの役目をします。本体底面の四隅にマークがありますので、その位置にゴム脚を貼り付けてください。

19 インチラックに取り付ける場合には、隣接するハブなどと干渉する可能性がありますのでゴム足は取り付けないようにしてください。

### 19 インチラックへの取り付け

付属のラックマウントブラケットを用いて、EIA規格の19 インチラックに取り付けることができます。

本体側面に付属のラックマウントブラケットを合わせて、付属のネジで両側をしっかりと固定します。

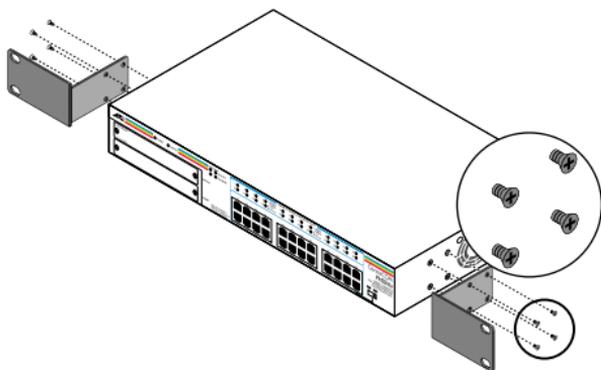


図2 ラックマウントブラケットの付けかた

次にラックの希望する位置に FH812u/812u-SW/824u/824u-SW を合わせて、19 インチラックのネジ穴に適合するネジで両側をしっかりと固定します。

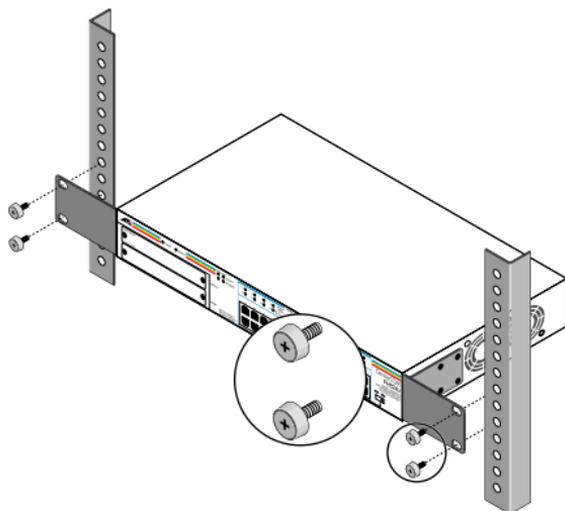


図3 19 インチラックの取り付けかた

固定が不十分な場合、落下などにより、重大な事故が発生する恐れがありますので、十分にご注意ください。

## 設置、接続のしかた

ご希望の場所に設置します。水平な安定した場所で、本装置の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。また、本装置は屋外ではご使用になれません。

すべてのケーブルが装置間を接続するのに適切な長さであることを確認します。FH812u/812u-SW/824u/824u-SWと端末を接続するケーブルの長さは100m、またFH812u/812u-SW/824u/824u-SW同士をカスケード接続するケーブルの長さは5m以内にしてください。

また、ケーブルは100BASE-TXでは、カテゴリ5以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を、10BASE-Tでは、カテゴリ3以上のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。(後に100BASE-TXにアップグレードするときに発生する余分な経費やトラブルを避けるために、カテゴリ5のケーブルをご使用になることをお勧めします。)

本製品は弊社販売品のシールド付カテゴリ5(ストレート)ケーブルにも対応しています。

オートネゴシエーション機能をサポートしていない機器とFH812u/812u-SW/824u/824u-SWを接続する場合は、必ず相手側の機器の通信モードを半二重モードに設定してください。

1. 本体前面の任意のポートにUTPケーブルを接続します。
2. ネットワークに接続する端末に10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
3. 電源ケーブルを本体背面の電源コネクタにさし込みます。
4. 本体前面のPOWER LEDが点灯することを確認します。UTPケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートのLINK LEDが点灯します。

## スタンドアローン

FH812u-SW/FH824u-SW は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。FH812u-SW/FH824u-SW と端末間の UTP ケーブルの長さは 100m 以内にしてください。10BASE-T、100BASE-TX のポートを搭載する端末を任意のポートに接続することができます。(モジュールレスの FH812u/824u は、スタンドアローンでは、ご使用になれません。)

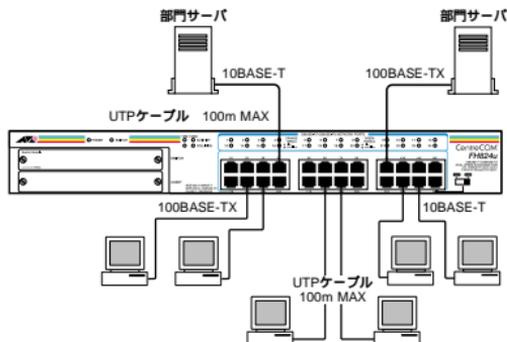


図4 スタンドアローンの接続例

## カスケード接続

カスケードポート(最終ポート12/24)を使用すると、ストレートケーブルで簡単にカスケード接続することができます。

オートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と接続する場合は、必ず相手側の機器の通信モードを半二重モードに設定してください。

- ・ 他のリピータの 100BASE-TX ポートと接続する場合  
UTP ケーブルは 5m 以内(接続可能なのは、class リピータのみです。)
- ・ 他のリピータの 10BASE-T ポートと接続する場合  
UTP ケーブルは 100m 以内
- ・ 他のスイッチ・ブリッジ・ルータなどと接続する場合  
UTP ケーブルは 100m 以内
- ・ FH812u/812u-SW/824u/824u-SW をカスケード接続する場合  
100Mbps Half Duplex で接続されますので UTP ケーブルは 5m 以内( FH812u/  
812u-SW/824u/824u-SW は class リピータとして機能するため)

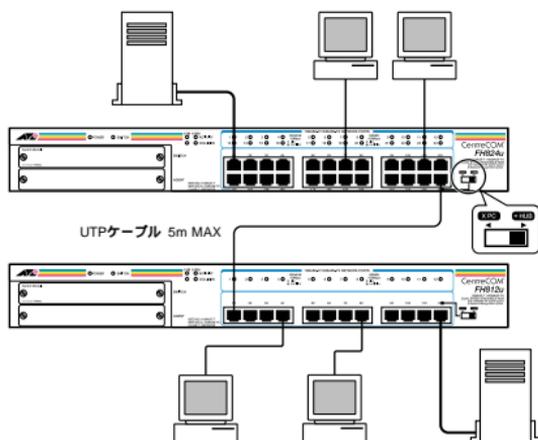


図5 カスケード接続の例

1. FH812u/812u-SW/824u/824u-SW のカスケードポート(ポート 12/24)に UTP ケーブル(ストレートタイプ)のコネクタを接続します。
2. CASCADE スイッチを「MDI (= HUB)」に設定します。
3. UTP ケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端のコネクタを接続先の通常の 100BASE-TX/10BASE-T ポート(MDI-X)に接続します。

スイッチモジュール(FH802u/FH803u/FH804u)のないFH812u/824u単体へのカスケード接続はできません。

## スタック接続

添付のスタックケーブルを使用するとFH812u/812u-SW/824u/824u-SWは最大4台までスタック接続することが可能です。

スタック接続した場合、FH812u/812u-SW/824u/824u-SWは最大96ポートのリピータ(=ハブ)として使用できます。

1. 机上などに置く場合は各FH812u/812u-SW/824u/824u-SWにゴム足を取り付けます。(19インチラックに取り付ける場合はゴム足は取り付けません。)
2. 必要台数のFH812u/812u-SW/824u/824u-SWを重ねて置きます。
3. 添付のスタックケーブルを各FH812u/812u-SW/824u/824u-SWの「IN」と「OUT」につながるように接続します。

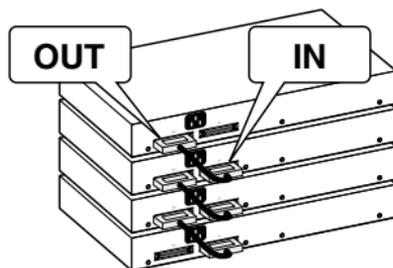


図6 スタック接続のしかた

### スタック接続時の注意

- **最大スタック数**  
最大スタック数は4台までです。
- **すべての電源をオン**  
スタック接続した場合には、必ずすべてのFH812u/812u-SW/824u/824u-SWの電源をオンにする必要があります。
- **同時に電源をオン**
  1. すべてのFH812u/812u-SW/824u/824u-SWを電源オフにした状態でスタック接続をしてください。

2. スタックしている各ユニットは、ほぼ同時に電源をオン する必要があります。

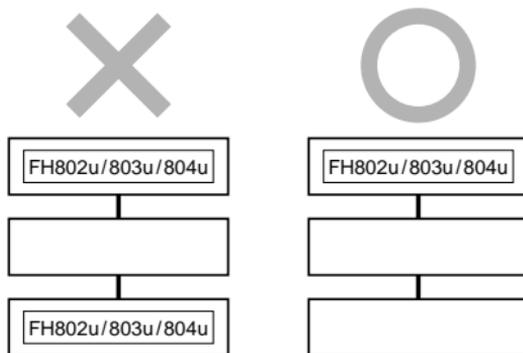
1 スタックしているユニットの中で、FH801u( マネージメントモジュール )を使用していない場合は、各ユニットの電源投入は各2秒以内に連続して(4段スタックの場合は、都合6秒以内 )投入する必要があります。

2 FH801uを使用している場合は、FH801uが搭載されているユニットを最後に起動する必要があります( 電源タップ等で同時に電源オンした場合には、FH801uのF/Wのロード等で必然的に最後に起動することになります )。

**スイッチ付きの電源タップにすべてのFH812u/812u-SW/824u/824u-SWの電源ケーブルを接続し、タップのスイッチで電源をオンにする事を推奨します。**

・ **スタック内に複数のスイッチモジュールは不可**

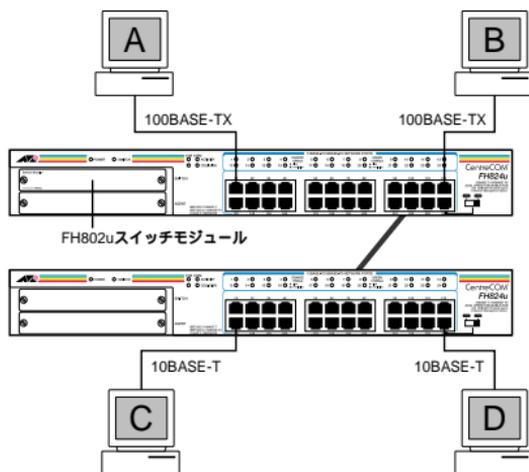
スタック内で使用可能なスイッチモジュール( FH802u/FH803u/FH804u )は1つです。モジュールを追加する場合は複数にならないようご注意ください。



## 正しいスタック時の通信状態

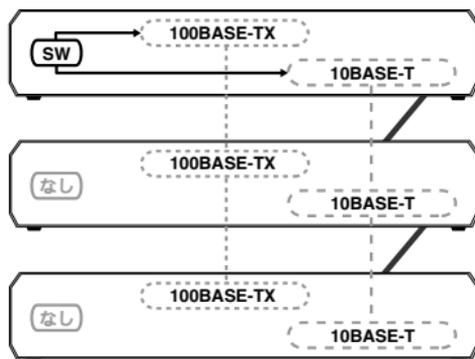
(スタック内に1つのスイッチモジュール(FH802u/FH803u/FH804u)がある場合)すべてのポートの通信が可能です。下図の端末A、B、C、Dはすべて相互に通信可能です。

また、10BASE-Tと100BASE-TXはそれぞれ独立したコリジョンドメインとなります。



## スイッチモジュール(FH802u/FH803u/FH804u)の機能

スタック内の一つのスイッチモジュールがスタック全体の10BASE-T - 100BASE-TX間のブリッジ機能を受け持ちます。



## トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### 1 POWER LED は点灯していますか?

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているかなどを確認してください。

なお、FH812u/812u-SW/824u/824u-SW には電源スイッチはありません。

### 2 LINK LED は点灯していますか?

LINK LED は接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しい UTP ケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2 つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています。

本製品の CASCADE スイッチの設定を確認してください。カスケード接続している場合、一方のカスケードポートは「MDI (= HUB)」にもう一方のカスケードポートは「MDI-X(X PC)」に設定しなければなりません。カスケードポートをカスケード接続ではなく、パソコンなどを接続するために使用している場合は、「MDI-X(X PC)」に設定します。

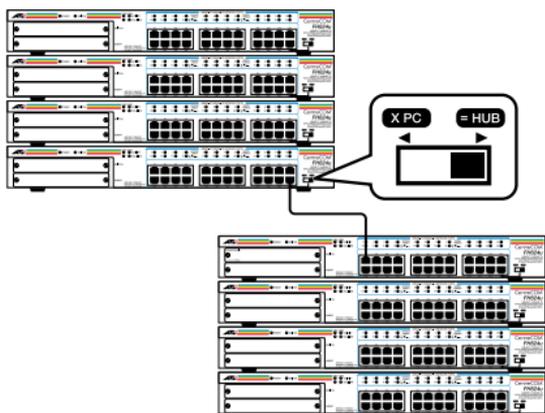
特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

リピータ (= ハブ) の数が制限を越えていないか確認してください。

イーサネット (10Mbps) の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大 4 台までとされています。

ファーストイーサネット (100Mbps) の場合、クラス II のリピータは、1 つのコリジョンドメイン内で 2 台までをカスケード接続することができます。その場合、リピータ間のケーブルの長さは 5m 以内としてください。クラス I のリピータはカスケード接続することができません。

注 スタックした4台のFH812u/812u-SW/824u/824u-SWは1台のHUBとして機能しており、カスケード接続には100Mbpsで通信が確立しますので、100Mbpsとして1つのコリジョンドメイン内で使用できるFH812u/812u-SW/824u/824u-SWは合計で8台までとなります。



SWモデルによる10BASE-T 100BASE-TXの通信は内部ブリッジ機能により確保されていますので、おのおのの10BASE-T、100BASE-TXは独立したコリジョンドメインとなります。

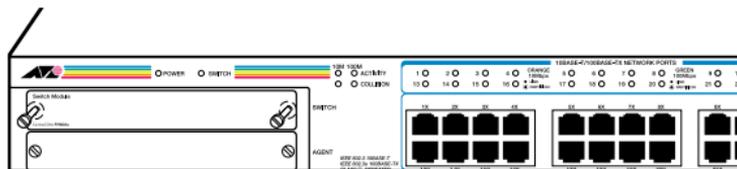


## オプションモジュールの取付け・取外し

オプションモジュールの取付け・取外しの際は必ず電源をオフ(電源ケーブルをHUB本体から外して)にして行ってください。

### ・ 取外し

モジュールまたはカバープレートの左右のネジをゆるめ(ネジがブラブラと前後に動くようになるところまで)、モジュールの場合は水平に引き抜いてください。



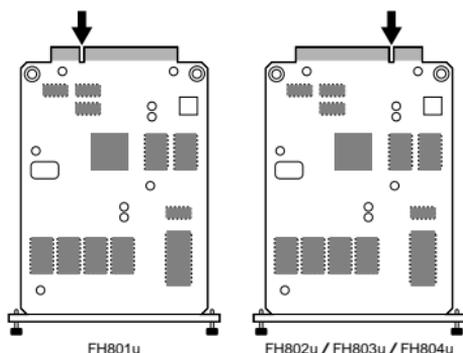
### ・ 取付け

モジュールにより、取付け可能なスロットが限られています。

FH802u/FH803u/FH804u ..... 上側スロット専用

FH801u ..... 下側スロット専用

それぞれ基板コネクタに切り欠きがありますのでご注意ください。



(上から見た状態の各モジュール)

スロットに挿入後は2つのネジをしっかり締めて固定してください。

## 推奨ケーブル

### 10BASE-T/100BASE-TX ケーブル

以下のような結線(ストレート)のUTPケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。

100BASE-TX では、カテゴリ 5 以上の UTP を使用しなければなりません。10BASE-T では、カテゴリ 3、4、5 のケーブルを使用することができます。

本製品は弊社販売品のシールド付カテゴリ 5(ストレート)ケーブルにも対応しています。

MAU (MDI)		HUB (MDI-X)	
TD +	1 ----->	1	RD +
TD -	2 ----->	2	RD -
RD +	3 <-----	3	TD +
未使用	4	4	未使用
未使用	5	5	未使用
RD -	6 <-----	6	TD -
未使用	7	7	未使用
未使用	8	8	未使用

## スタック接続用インターフェース



(1) /100CF SB	(24) VCCB	(47) GND
(2) IR100DATABP4	(25) VCCB	(48) GND
(3) IR100DATABP3	(26) VCCB	(49) GND
(4) IR100DATABP2	(27) VCCB	(50) GND
(5) IR100DATABP1	(28) SERCK	(51) GND
(6) IR100DATABP0	(29) SERDAT	(52) GND
(7) /IR100ENBP	(30) AR_BUS	(53) GND
(8) IR100CKBP	(31) AR_OUT(OUT)/AR_IN(IN)	(54) GND
(9) IR10DATBP	(32) DNDET(OUT)/UPEN(IN)	(55) GND
(10) DOWN1T(OUT)/UP1T(IN)	(33) DNEN(OUT)/UPDET(IN)	(56) GND
(11) /IR10ENBP	(34) MN_DN1(OUT)/MN_UP1(IN)	(57) GND
(12) IR10CKBP	(35) GND	(58) GND
(13) 10COLB	(36) GND	(59) GND
(14) 10CF SB	(37) GND	(60) GND
(15) DOWN1(OUT)/UP1(IN)	(38) GND	(61) GND
(16) DOWN2(OUT)/UP2(IN)	(39) GND	(62) GND
(17) AGENT_EXISTBP	(40) GND	(63) GND
(18) DOWN2T(OUT)/UP2T(IN)	(41) GND	(64) GND
(19) IRQBP	(42) GND	(65) GND
(20) VCCB	(43) GND	(66) GND
(21) VCCB	(44) GND	(67) MMOUTBP(OUT)/MMINBP(IN)
(22) MASTER_AGENT_ALIVEBP	(45) GND	(68) MN_DN2(OUT)/MN_UP2(IN)
(23) SW_OUT(OUT)/SW_IN(IN)	(46) GND	

## 製品仕様

- サポート規格

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u  
100BASE-TX class

- 電源部

定格入力電圧 : AC 100-240V  
入力電圧範囲 : AC 90 ~ 255V  
定格周波数 : 50/60Hz  
平均消費電力 : 47W( FH824u-SW )  
46W( FH824u )

- |        |   |                     |
|--------|---|---------------------|
|        |   | 31W(FH812u-SW)      |
|        |   | 29W(FH812u)         |
| 最大入力電流 | : | 1.5A(AC100V)        |
| 突入電流   | : | 18A(AC100V)         |
| 発熱量    | : | 41kcal/h(FH824u-SW) |
|        |   | 39kcal/h(FH824u)    |
|        |   | 27kcal/h(FH812u-SW) |
|        |   | 25kcal/h(FH812u)    |
- ・ 環境条件
 

保管時温度	:	-20 ~ 60
保管時湿度	:	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	:	0 ~ 40
動作時湿度	:	80%以下(ただし、結露なきこと)
  - ・ 外形寸法(突起部含まず)
 

	:	440(W) x 200(D) x 63(H) mm
--	---	----------------------------
  - ・ 重量
 

	:	2.9kg(FH812u)
		2.9kg(FH812u-SW)
		2.9kg(FH824u)
		3.0kg(FH824u-SW)
  - ・ アドレスエントリー数
 

	:	FH802u/FH803u/FH804u	最大 8K
--	---	----------------------	-------
  - ・ メモリ容量
 

	:	FH802u/FH803u/FH804u	1M byte
--	---	----------------------	---------
  - ・ 取得承認
 

環境規格	:	UL1950
		VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

### アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772

月～金曜日(祝・祭日を除く)

9:00～12:00

13:00～18:00

Fax: ☎ 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け

## 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

## 使用しているハードウェアについて

- ＊ 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例)



## お問い合わせ内容について

- ＊ どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- ＊ エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

## ネットワーク構成について

- ＊ ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- ＊ 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## ご注意

- ・ 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、すべての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1998-2001 アライドテレシス株式会社

## 商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## マニュアルバージョン

---

1998年 7月	初版	Rev.A
1998年 7月30日	第2版	Rev.B
1998年 10月15日	第3版	Rev.C
1999年 4月30日	第4版	Rev.D
2001年 12月5日	第5版	Rev.E

# 調査依頼書(FH812u/812u-SW/824u/824u-SW)

年 月 日

## 一般事項

1. 御社名：

部署名：

ご担当者：

ご連絡先住所：〒

TEL： ( )

FAX： ( )

2. 購入先：

購入年月日：

購入先担当者：

購入先(TEL)： ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名：FH812u・FH812u-SW・FH824u・FH824u-SW（いずれかを で囲んでください。）

2. お問い合わせ内容

別紙あり 別紙なし

設置中に起きている障害

設置後、運用中に起きている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

(拡大コピーしてご使用ください。)